

静岡県損害保険暴力防犯対策協議会総会を開催

～5年振りの対面開催 静岡県警察本部交通部等へ感謝状を贈呈～

日本損害保険協会中部支部静岡損保会(会長:牛島 大介・三井住友海上火災保険株式会社 静岡支店長)は、1月28日(水)14時から中島屋グランドホテルで、第45回静岡県損害保険暴力防犯対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など28名が出席しました。なお、静岡県で当協議会総会を対面で開催するのはコロナ等の影響もあり、2020年度以降5年振りとなります。

開会に際し、同協議会の牛島会長(協議会会長は中部支部静岡損保会長が兼務)から、日頃からの関係各位の連携・協力に謝辞を伝えるとともに、「暴力団等が介在するリスクは単なる治安の問題に止まらず、地域経済の健全性を揺るがしかねない経済リスクであると認識しており、近年においては、特殊詐欺や保険金を目的とした不正請求などの手口は年々巧妙化してきている。今後も静岡県警察本部をはじめ関係各位と緊密に連携しながら、地域の安全と健全な経済生活活動を支える一翼を着実に担っていきたい。」との挨拶がありました。

引き続き、来賓の静岡県警察本部刑事部組織犯罪対策局 平野 泰弘 捜査第四課長からは、「特殊詐欺や投資口マンス詐欺の被害に歯止めがかからず深刻な状況にある。これらの犯罪を敢行しているのが匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)であり、このトクリュウと結託をしたり、傘下に収めて暗躍する暴力団組織の存在も見え始めている。警察も暴力団排除に万全を期していくが、対策にあたっては、警察ならびに関係各位がこれまで以上に連携強化し、社会全体で排除活動に取り組んでいく必要があると思うので、今後とも変わらぬ支援を賜りたい。」とご挨拶がありました。

その後、協議会委員から、この2024年度の活動報告および2025年度の活動報告案について説明があり、拍手を以て承認されました。

そして、あらゆる暴力や不当不正請求の排除をすることについて、決議文を全員で唱和しました。

次に、2024年度に発生した費用偽装による架空請求および交通事故偽装による保険金詐欺事案2件について、迅速な捜査により検挙したとして、牛島会長から静岡県警察本部交通部 入戸野交通指導課長ならびに伊豆川交通機動隊隊長補佐・静岡南警察署 浦野交通課長・清水警察署 嶋田交通課長に対し、感謝状が贈呈されました。

最後に、静岡県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課 鷹尾 恭志 課長補佐の「最近の暴力団の情勢」と題した講演では、暴力団などの反社会的勢力の現状と対策について説明がありました。

当支部は、今後も引き続き、静岡県警察本部等と連携して、保険犯罪や不正請求の防止に向けて取り組んでまいります。

<第45回静岡県損害保険暴力防犯対策協議会総会 式次第>

1. 会長挨拶
2. 来賓挨拶
3. 来賓紹介
4. 議事
5. 決議文採択
6. 感謝状贈呈

<第45回静岡県損害保険暴力防犯対策協議会総会 特別講演>

- ・テーマ 「最近の暴力団の情勢」
- ・講師 静岡県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課 鷹尾 恭志 課長補佐



会長挨拶：牛島会長



来賓挨拶：平野捜査第四課長



鷹尾課長補佐による講演



感謝状贈呈に係る集合写真

(左から、牛島会長、入戸野交通指導課長、伊豆川交通機動隊隊長補佐、鳴田交通課長、浦野交通課長)